



小田野中央公園まちづくりの会「第15回総会」

新型コロナウイルス感染症オミクロン株の流行で、やむなく今年の第15回の総会も紙面表決の総会になってしまいました。3年度活動報告及び決算報告、4年度活動計画及び予算案、まちづくりの役員改選について全て承認されました。主な内容は以下の通りです。

令和3年度活動報告

まちづくりの会主催のイベント及び共催・協賛のイベントは共に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。公園内の環境保全活動は36回、延べ1155名の参加を得て計画通り実施でき、公園内を常に綺麗な状態に保つことができました。

他団体との協力活動では、恩方第一小学校の2年生（現3年生）元木小の3年生（現4年生）には春と秋の2回タネ団子花壇（亀の日時計の周りの斜面・滑り台横の花壇）に種を蒔き、花を植え、花壇を飾ってくれました。また10月には高尾防犯協会など5団体の協力でエントランス花壇（桜宮住宅入り口）にパンジーの苗を植えました。

令和4年度活動計画

小田野中央公園を中心とした地域内の交流や行事に関する企画や実施に取り組みます。

コミュニティ活動として様々な年代の人々が一同に集うイベントを企画実施します。

「第14回秋のワークショップ」の企画実施（9月18日（日）開催予定）

「第16回さくらまつり」の企画実施（令和5年3月19日（日）開催予定）

その他共催・協賛のイベントに協力します。

環境保全活動（草刈り・剪定等の整備作業・花壇の花植・維持管理等）は年間30回を予定し実施し、誰もが安心して楽しめるきれいな公園づくりを進めます。

新役員の紹介

今年度は役員の改選の年（任期2年・再選可）でした。会員の高齢化が進みまちづくりの会が存続できるか危ぶまれています。今回2名が環境保全部の理事として承認されました。門脇大輔さん（オンガタ商店会）田中恭輔さん（オンガタ商店会）の若い二人です。この二人が理事に加わったことで、会の運営が活性化され、よりよい公園づくり・運営が出来るものと期待しています。

セブソーイレブン記念財団 環境市民活動助成{地域美化助成金}が交付されました

昨年度までは「花と緑の助成」と「清掃助成」が別々になっていましたが、今年度からは「花と緑の助成」と「清掃助成」が一緒になり「地域美化助成」と名称が変更になりました。令和3年度は助成金を受けることが出来ませんでした。今年度は助成を受けることが出来ました。今後基金を有効に活用し、益々きれいで皆が楽しめる小田野中央公園を皆さんと共に創っていきたく考えています。まちづくり活動に参加していただける方大歓迎です。



恩方第一小学校の二年生がタネ団子を植えました

6月16日(木) 恩方第一小学校の2年生33名が滑り台横の花壇にタネ団子とブルーサルビアの苗を植えました。タネ団子にはジニア(黄色2種・白・ライム)・センニチコウ(白)コスモス(白・だいだい・黄)の種が入っています。

上段には、ジニア・センニチコウ・コスモスなどさわやかな白と黄色の組み合わせ、下段にはブルーサルビアを植えてウクライナ国旗の色(色は逆さま)を表現してみました。早く戦争が収まり平和な世界になることを願っています。夏休みが始まる頃には綺麗な花が咲き始めます。そして秋のワークショップ(9月18日)の時には満開の花が見られると思います。



元木小学校の三年生がタネ団子を植えました

6月21日(火)には元木小学校の3年生48名が亀の花壇の周りの花壇にタネ団子をつくり植え、亀の花壇には花の苗を植えました。タネ団子づくりでは、最初真っ黒な「おはぎ」を見て尻込みしている児童もいましたが、友達が作るのを見て作り出しました。みんな楽しそうに作り花壇に植え付けました。綺麗な花が咲くのが楽しみです。亀の花壇は平成17年度3年生の皆さんが発案して、作られたもので、以来ずっと3年生が春と秋に植え付けをしています。今年の花はマリーゴールド・アルテルナンテラリトルロマンスなどの苗です。公園を訪れる人達を楽しませてくれるものと思います。



環境保全部の活動

環境保全部 部長 石井幸治

私たち環境保全部の会員は、小田野中央公園に来る皆さんが気持ちよく、楽しく過ごすことが出来ることを願い公園の整備活動をしています。今回は環境保全部の活動を紹介致します。

令和3年度の定期整備活動は29回、延べ459名が参加しました。作業内容は草刈り・バリカン作業・中木の剪定・砂まき・つるや雑草取りなどです。そのほかトイレの開閉、清掃・駐車場の開閉・ゴミ拾い・公園警備などもしています。



草刈り作業は年間を通して一番大切にしている作業です。作業は刈り払い機を回して草を刈るのですが、草と同時に小石も飛び事があり危険な作業現場です。この為監視員を付けて人が近づいたらホイッスルを吹いて作業員に作業の中止を知らせます。また、作業員は家屋が近い所や駐車している車がある所では、回転を落としたり、刈る向きを変えたり工夫して事故の起きない様注意して作業をしています。

バリカン作業（ヘッジトリマーを使って行う）は生け垣等の刈り込みをする作業ですが、機材が重く体力のいる作業と同時に危険も潜んでいます。それは刈り込む場所に蜂の巣が多い事です。アシナガバチやスズメバチの巣が有り数十ヶ所も刺され医者に行く事故も発生したこともありました。現在は蜂の巣がない事を確認して作業に入っています。

環境保全部は見通しの良い、明るくきれいな、気持ちの良い公園作りと、作業中の事故ゼロを目標に活動しています。小田野中央公園を長く維持する為、この活動に興味のある方の参加を心よりお待ちしております。

「チームひょうたん」(花壇整備活動)

環境保全部 理事 栗原京子

2017年の春に出来たひょうたん花壇の植栽チームも早5年が経ちました。当時から様々なテーマを元に、また四季折々の楽しみ方ができるように花の種類、配色、ボリュームを試行錯誤しながら少しずつ変化し続けています。他にも公園のエントランス、案内板花壇、亀の花壇、小学生とともに作る花壇など小田野中央公園を彩っています。

盛夏から初秋にかけてサルビア、ジニア、エキナセア、ダリア、マリーゴールド、千日紅、シュウメイギク、コスモス等々たくさんの花が次々と開花します。子供たちと蒔いた種も花盛りとなります。近づいて観てみると、大きな株にかくれた小さな花が見つかりますよ。



私は活動に参加させてもらってから家の庭が劇的に良くなってきました。興味もわいて庭いじりが楽しくなってきました。花や園芸のことなど教わるのがたくさんあります。メンバーとおしゃべりも楽しく、公園を訪れる人の「ご苦労様」に支えられ、隔週の日曜日、まちづくりの会の方たちと一緒に活動しています。

新しいメンバーさんも増えています。ぜひ一緒に活動しませんか？お待ちしております。

小田野中央公園にドクターヘリ出現

令和4年5月11日（水）12時15分頃、緊急の患者様を輸送するために小田野中央公園グラウンドにドクターヘリが着陸しました。20分後に救急車が到着し、患者様の搬送準備を整え、12時55分頃離陸する出来事がありました。

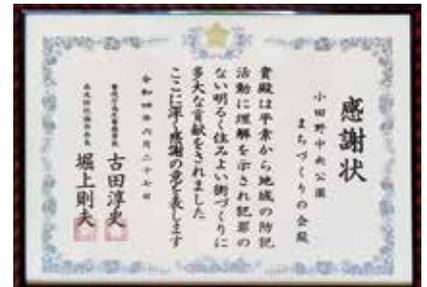
東京都は、令和4年3月31日に多摩地域で「東京都ドクターヘリ」の運航を開始しました。八王子市内でも学校の校庭、公園、運動施設など、合計27か所がランデブーポイント（ドクターヘリが救急車から患者を引継ぐ場所）として登録されています。その一つに小田野中央公園が登録されました。

公園は広いからドクターヘリ（ヘリコプター）が離着陸できると思われる方もいるのではないのでしょうか。広いだけではできません。離着陸するための条件が整わないとドクターヘリ（ヘリコプター）の離着陸はできません。条件はとても厳しく、空港法第79条の規定で「航空機は、陸上にあっては空港等以外の場所において離陸し、又は着陸してはならない」と定められていますが、緊急時や災害時など当該離着陸がやむを得ない事由に基づき、かつ、安全上支障がないと認められた場合に限り、国土交通大臣の許可を得ることで、空港等以外の場所でも離着陸が可能となります。条件は7項目あり、消防署の協力も含め6項目が小田野中央公園グラウンドに該当したこと及び、救急車等の緊急車両の出入りができる等の条件が重なり、ドクターヘリの離着陸ができたと思われます。



高尾警察署から感謝状を頂きました

6月27日（月）高尾警察署で、地域の防犯活動に理解を示し、犯罪のない住みよいまちづくりに貢献したとして、感謝状を頂きました。日頃の会員の活動のたまものと感謝致します。



まちづくりの会の仲間になりませんか

小田野中央公園の整備活動に加わってみませんか？ご近所の皆さんが、安心して遊べる公園を一緒に守り、育てましょう。ご参加を心よりお待ちしております。子育て世代の皆さんの参加も大歓迎です。

【問い合わせ先 榛葉 090-4599-3881】

まちづくりの会は、共助のまち、支えあいのまちづくりを目指しています。

この活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。



2022年9月18日（日）第14回 秋のワークショップ

※第14回秋のワークショップの実施は直前のCOVID19対応状況をみて決定します。